



ごみゼロアイランド対馬宣言

世界は今、大量生産と大量消費の結果として、多くのごみであふれています。ごみの運搬や焼却処理には多額のコストを必要とし、地球温暖化の原因となる温室効果ガスも大量に排出します。また、海に流れ出たごみは、美しい海岸景観や観光振興を阻害するだけでなく、ウミガメ等の野生動物の生態系、魚介類を通じて摂取したマイクロプラスチックによる人体への影響も懸念されています。SDGs 未来都市である対馬市は、対馬、日本、そしてこの地球の美しい自然を未来へつなぐため、ごみをゼロにしていく不断のチャレンジをここに宣言します。

対馬市ではこの宣言に係る取組として、対馬市 SDGs アクションプランに基づきながら、市民、地域団体や企業等と連携し、4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)のさらなる推進、ごみのポイ捨てや不法投棄の防止等を実施し、「島内で生じるごみ」と「島外から流れつく海ごみ」の両方のアプローチからごみの発生抑制に努めます。

令和4年6月14日

対馬市長

比田勝尚喜

対馬市議会議長

初村 久藏

SDGs Future City
Tsushima Island